

麻 薬 年 間 届 (年 10月1日～ 年 9月30日)
 年 月 日

山梨県知事 殿

麻薬業務所 所在地 甲府市丸の内〇丁目〇-〇
 名称 県庁薬局
 届出者 氏名 株式会社 県庁
 代表取締役 県庁 太郎 印
 免許の種類 麻薬小売業者
 免許証番号 第 〇〇-〇〇〇〇 号
 TEL 055-226-〇〇〇〇

第47条
 麻薬及び向精神薬取締法 第48条 の規定により、次のとおりお届けします。
 第49条

品 名	容器の容量	.10.1の在庫		受 入		払 出		.9.30の在庫		備 考
		容器の数	数 量	容器の数	数 量	容器の数	数 量	容器の数	数 量	
〇〇塩酸塩注射液 10mg	10A	10箱	100A	7箱	70A	12箱	120A	5箱	50A	自主回収により20Aを譲渡

麻薬の自主回収により、麻薬を譲渡した場合は、払出数量の中に加えて報告し、備考欄に譲渡数量を記載してください。

- (注)
- 届出者氏名は、麻薬小売業者にあつては薬局開設者（法人にあつては名称及び代表者氏名）、麻薬診療施設にあつては麻薬管理者（麻薬管理者がいない施設においては麻薬施用者）、麻薬研究施設にあつては麻薬研究者とすること。
 - 届出者は、9月30日現在で作成し、11月30日までに麻薬業務所を管轄する保健所へ1部（麻薬研究施設にあつては2部）提出すること。
 - 単位はグラム（g）、アンプル（A）（注射液の場合）、ミリリットル（ml）、バイヤル（V）、錠等と記載すること。
 - 同じ品名のもので剤型や含有量が異なれば、別品目として記載すること。
 - 購入した麻薬から倍散、溶液、軟膏を自製（予製）した場合は、購入した麻薬欄の次行に倍散、溶液、軟膏の欄を別に設けて記載すること。
 - コデイン、ジヒドロコデイン、エチルモルヒネの倍散、水溶液、軟膏は、9月30日に秤量し、期末在庫数とすること。（払出数は計算によること。）

- (7) 受入欄には、麻薬卸売業者から譲り受けた麻薬の数量を記載し、患者等から譲り受け（返却され）再利用する場合の麻薬の数量については（ ）書きで別掲すること。
- (8) 麻薬廃棄届により廃棄した数量及び事故のあった数量を備考欄に記載すること。なお、調剤済麻薬廃棄届により廃棄した数量の記載は不要です。
- (9) 1年間使用しなかった麻薬についても報告すること。なお、麻薬を所持せず使用しなかった者は、斜線を引いて届け出ること。